



第3回 (仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン 有識者懇話会

2022. 7. 22 (金) 14:30-17:00 (開場14:00) 埼玉会館 小ホール

次 第

1. 第24回(2021年)まちづくり・都市デザイン競技
国土交通大臣賞・さいたま市長特別賞 受賞者発表 [14:30~15:00]
2. 休憩 [15:00~15:10 (10分間)]
3. 第3回(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会 [15:10~17:00]
テーマ:(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンとりまとめ(素案)について
4. 閉会 [17:00]

有識者懇話会終了後、アンケートの回収をいたします。アンケート回答のご協力をお願いいたします。

登壇者

隈 研吾氏 (会長/建築家)

安藤 梢氏 (三菱重工浦和レッズレディース選手)

坂井 貴文氏 (埼玉大学学長)

廣瀬 通孝氏 (東京大学名誉教授)

向井 亜紀氏 (タレント)

安河内 眞美氏 (古美術鑑定士)

市川 淳平氏 (さいたま市浦和商店会連合会 副会長)

三木 康史氏 (株式会社三越伊勢丹 執行役員 営業本部伊勢丹浦和店長)

鳥羽 三男氏 (東日本旅客鉄道株式会社 浦和駅長)

有識者の方々や地域の代表の方々から様々な観点でご意見を伺い、浦和のまちづくりに反映していきます。

(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン骨子(案)→裏面へ

(仮称) 浦和駅周辺まちづくりビジョン骨子 (案)



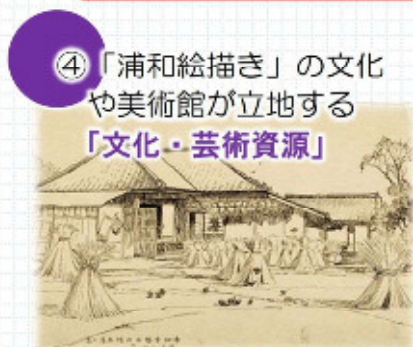
詳細は市ホームページ
でご確認ください。

▶ 浦和駅周辺のまちの魅力・価値

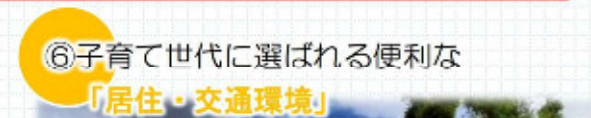


～全ての根底にあり、共通するもの～

浦和のまちを創り・育て・成長させてきた『人』の存在
～URAWAプライド (誇り・愛着)～

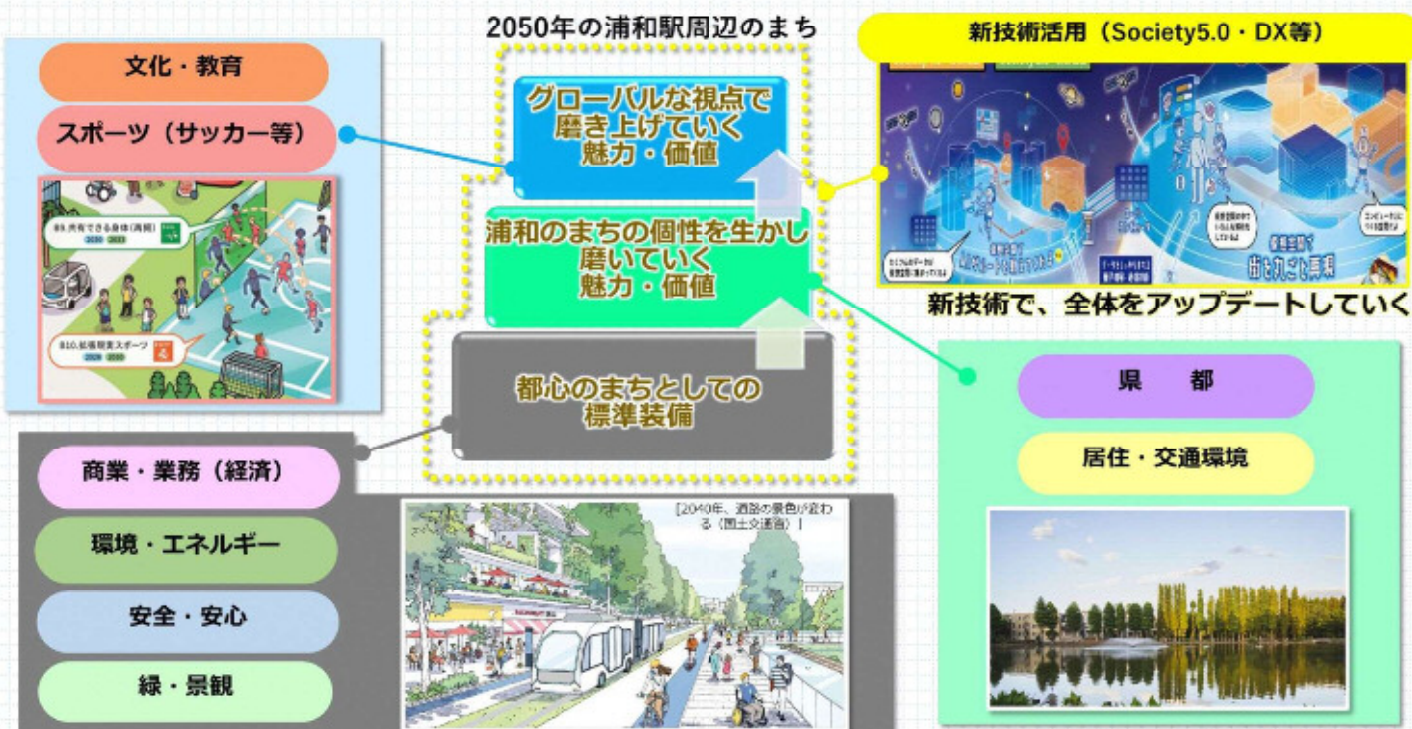


▲ 福原巖外
《浦和常盤町北端米屋の裏》1907年
うらわ美術館蔵



▶ まちの将来像のコンセプト

令和32 (2050) 年の将来像を9つの分野に整理しました。



第3回（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会

「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン」

とりまとめ素案について



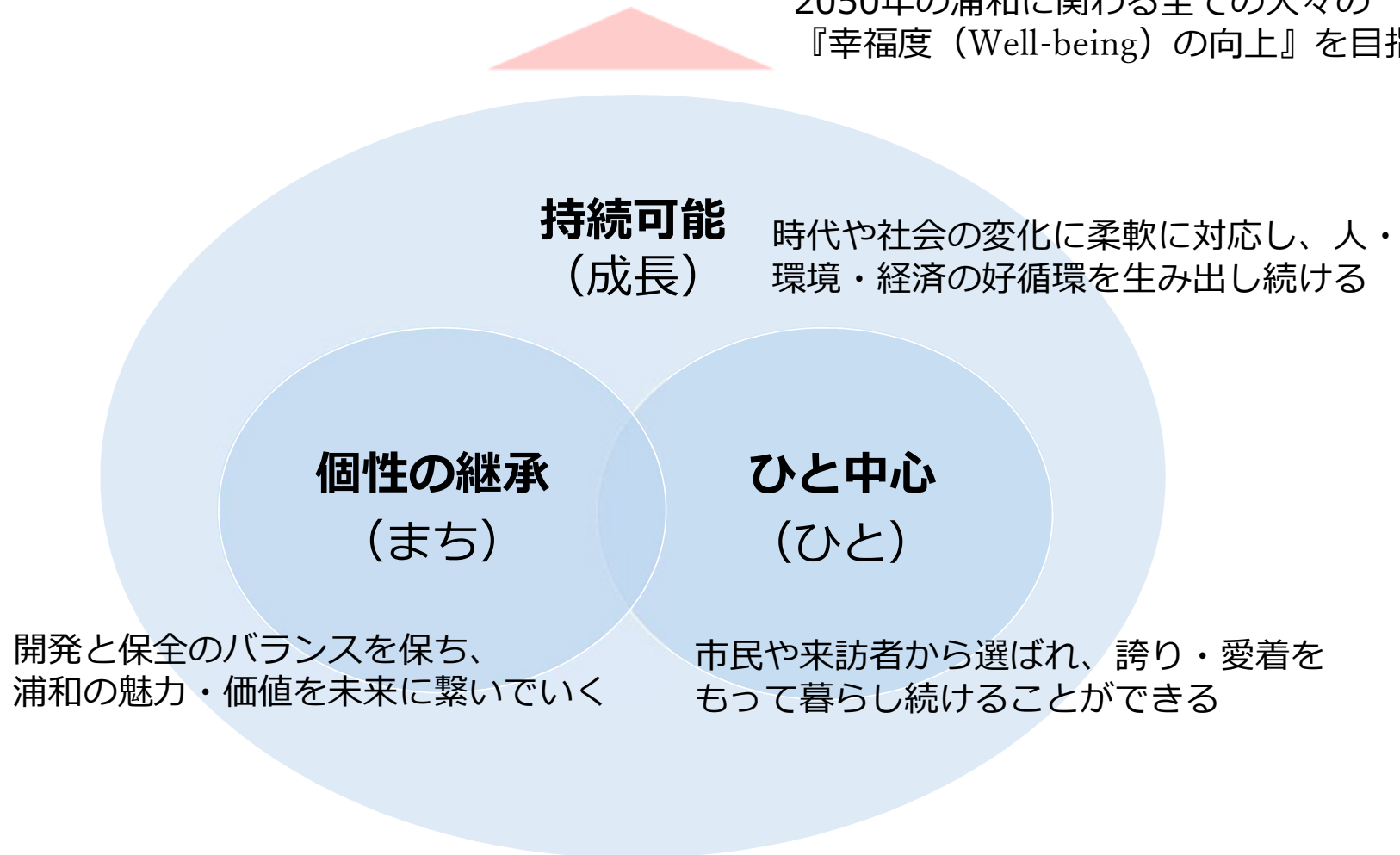
1-1 将来像の基本理念

浦和に関わる全ての人々の
『幸福度（Well-being）の向上』を目指して、
まちが更なる成長・発展を遂げていくために、
大切に考える考え方を「基本理念」として
整理しました。

【基本理念】

幸福度（Well-being）の向上

2050年の浦和に関わる全ての人々の
『幸福度（Well-being）の向上』を目指します





浦和の将来像

洗練された伝統と感性豊かな文化が息づく、
風格で魅了する都心・浦和

浦和の将来像のイメージ①

(仮) 誰もが安心安全、快適に活動できるまち

都心のまちとして、スマートシティを目指し、
新技術を活用しながら、
都市機能を引き続き維持・更新していく



【参考イメージ】

出典：科学技術・イノベーション白書（文部科学省）

浦和の将来像のイメージ②

(仮) 県都として風格ある暮らしのまち

市民や来訪者から選ばれ、
誇り・愛着をもって暮らし
続けるために、
浦和のまちの個性を生かし、
DXを活用し磨いていく

【参考イメージ】

出典：
埼玉版スーパー・シティ
プロジェクト（埼玉県）



浦和の将来像のイメージ③

(仮) 世界に冠たる文教・スポーツのまち

文化・教育・スポーツは、
浦和のまちを象徴する魅力・個性として、
新技術を取り入れながら
グローバルな視点で磨き上げていく

【参考イメージ】



出典：科学技術・イノベーション白書（文部科学省）

目指すまちの将来像を実現するため、
まちづくりの方針は
「浦和のまちの魅力が成長するリ・デザイン」
「浦和のひとが成長し続ける
サステイナブル・サイクル」
の2つに設定します。

この方針を踏まえて、
まちづくりを展開していきます。

【方針 1】

浦和のまちの魅力が成長するリ・デザイン

- 浦和のまちは、浦和の人のこれまでの尽力によって、文教都市や住みやすい等と評価されるまちが形成されてきました。
- 世界に誇れる魅力の創出、まちのイメージ（風格）につながる浦和の顔の形成や、ライフスタイルに応じた生活圏と交通環境創造により、更なる住みやすく災害に強いまちに向け、人の活動を支えるまちの拠点とネットワークのリ・デザインに取り組み、全国に誇れる先進的なスマートシティ“浦和モデル”を目指し進化していきます。

浦和のまちのリ・デザインとは…

⇒ 「完成された『まち』を、最適化のために再構築すること」

【方針2】

浦和のひとが成長し続けるサステイナブル・サイクル

- 浦和のまちは、ヒト・モノ・カネ・情報・エネルギーが地域や広域を循環し、助け合いながら相互に発展してきました。
- 更なる多様なつながりによって、浦和の人が助け合い、自己実現できる環境の創出を目指します。
- 人生100年時代に、ライフステージにあわせた地域内住み替えで住み続けられる居住環境を目指すなど、デジタルツインを活用し、サステイナブル・サイクルにより進化させていきます。

浦和のサステイナブル・サイクルとは…

⇒ 「まちの主役である『ひと』の成長を支える持続可能な循環のしくみ」

各展開は、
浦和の地域資源を生かしながら、
時代の変化へ対応できるように
検討していきます。

まちづくりの展開は、
官民連携で推進していきます。

展開 1

浦和の文化・教育・スポーツを
日常で体感し、楽しめる場の創出

展開 2

県都・都心にふさわしい、風格のある
まちの再構築

展開 3

浦和らしい、多様なライフスタイルを
実現できる居住環境の形成

展開 4

誰もが安全・安心、快適に移動できる
ネットワークの強化

その他の展開

まちの環境とサービスの維持

展開 1 浦和の文化・教育・スポーツを 日常で体感し、楽しめる場の創出



グローバルに活躍する人財を育み、
人生100年時代に生涯楽しみ続けられる環境や、
市民や来街者がまちなかで体感できる仕組みや
仕掛けを構築し、地域の活性化や市民生活の
充実を目指します。



【参考イメージ】

出典：科学技術・
イノベーション白書
(文部科学省)



展開 2

県都・都心にふさわしい、風格のあるまちの再構築

県都にふさわしい風格のある広域拠点として、環境・エネルギー性能の効率化や防災安全性の確保、緑・景観との調和や新技術の積極活用等、複合的な都市機能を備えた質の高い環境整備を図ります。

【参考イメージ】



出典：埼玉版スーパー・シティプロジェクト（埼玉県）



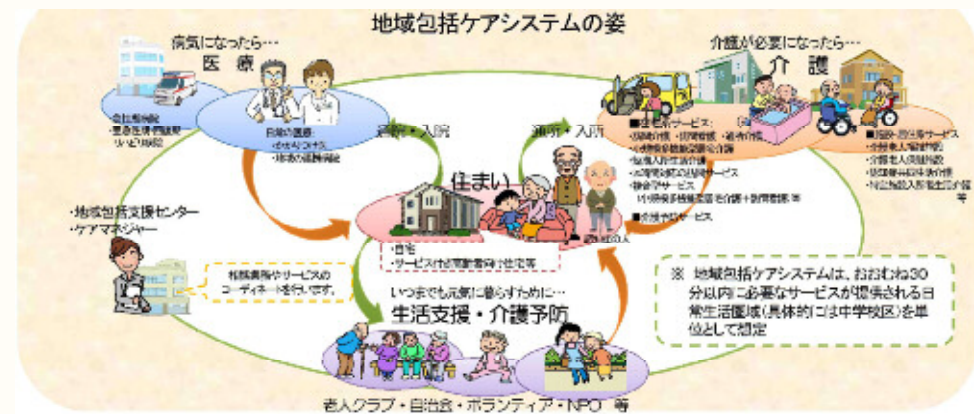
展開3 浦和らしい、多様なライフスタイルを 実現できる居住環境の形成

多様な年齢・世帯の方々が、浦和のまちで多様なライフスタイルを実現できるよう、生き生きと暮らせる活動の支援、交流の場づくりやコミュニティ形成の機会づくりに取り組みます。

【参考イメージ】



出典：2040年、道路の景色が変わる（国土交通省）



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書（厚生労働省HIPS）

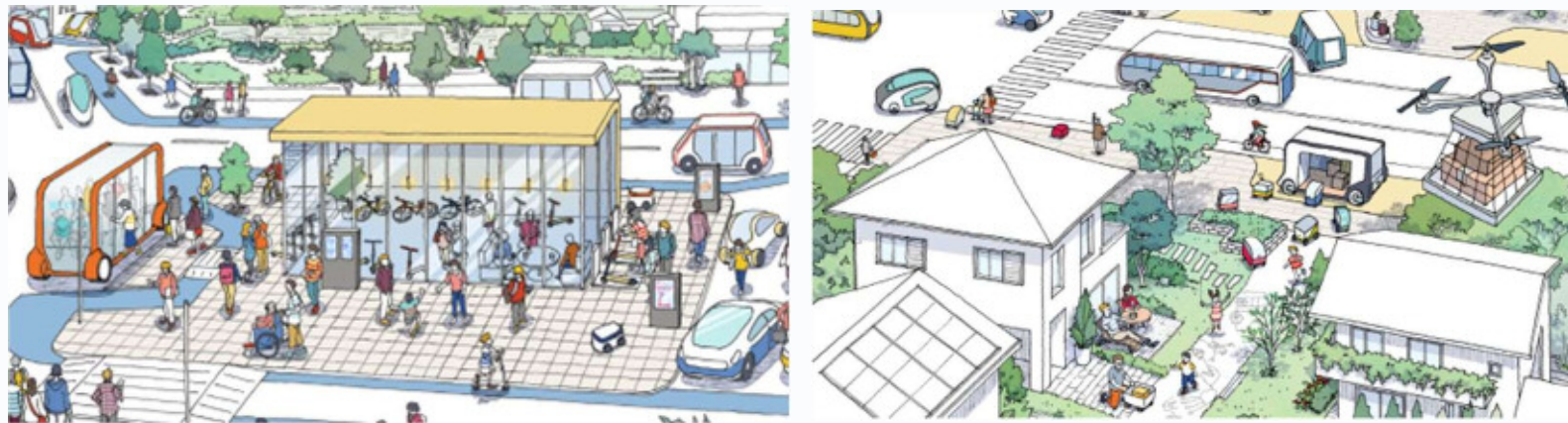


展開 4

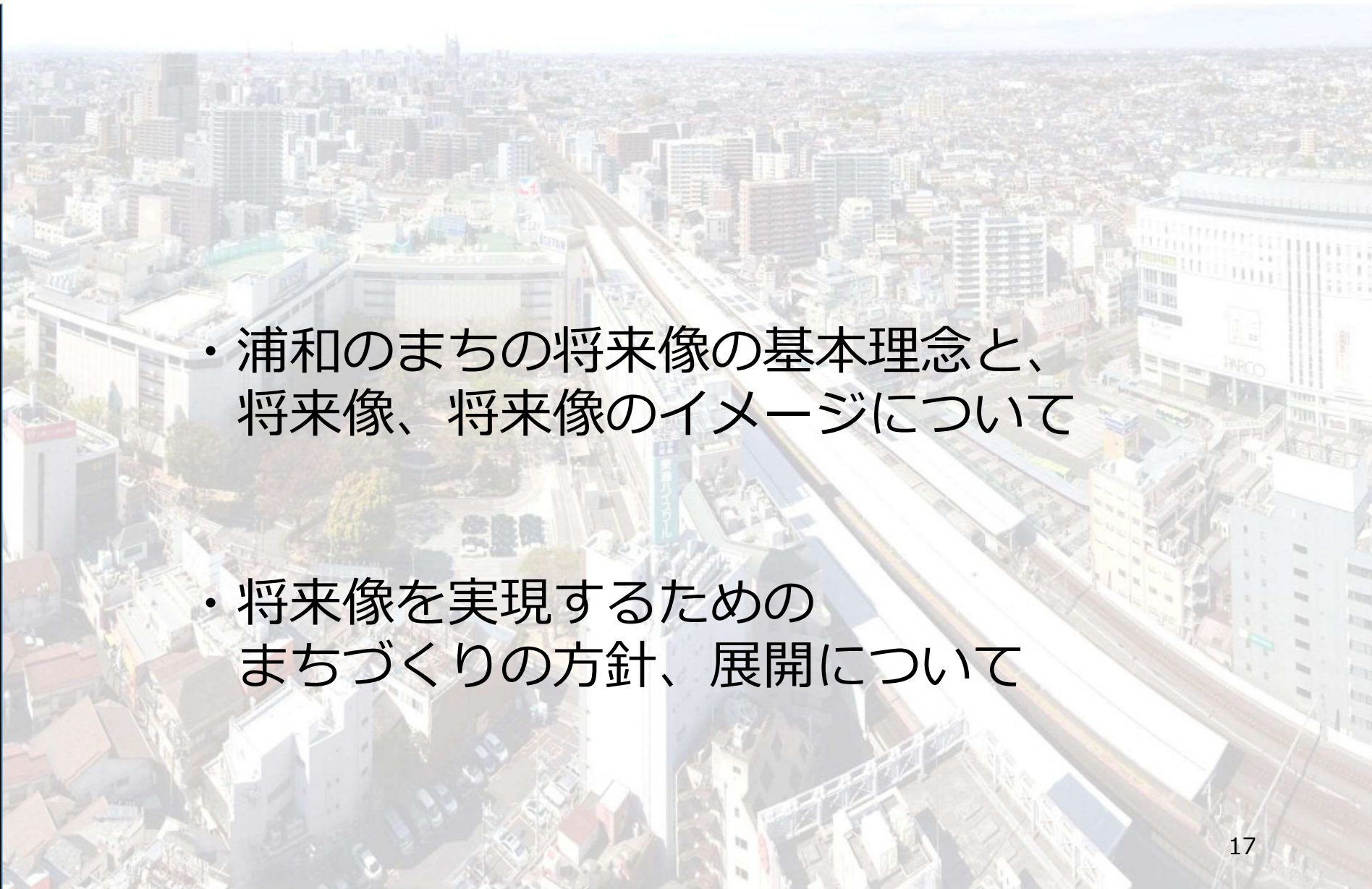
誰もが安全・安心、快適に移動できるネットワークの強化

点在する商業施設や文化・芸術、サッカー、緑、歴史等の地域資源のネットワーク化を図るとともに、目的や利用者に応じた最適な移動手段の確保を図り、誰もが安全・安心、快適に活動・交流できる移動環境の形成を図ります。

【参考イメージ】



出典：2040年、道路の景色が変わる（国土交通省）

- 
- ・浦和のまちの将来像の基本理念と、将来像、将来像のイメージについて
 - ・将来像を実現するためのまちづくりの方針、展開について

将来の生活シーン

～20代

学生・単身世代



30～40代
(未就学児含む)

夫婦・子育て
(共働き) 世代



50～70代

中高年世代



80代～

人生100年世代



将来像を
浦和のひとの将来の生活シーンで
表現します。

※今後、有識者懇話会や
市民ワークショップなどでご意見を
いただきながら作成していきます。

生活シーンで示すイメージは、
まちづくりの展開や取組に反映
させていただきます。

・浦和のまちの将来の生活シーンについて